

(別記)

ともに輝くふくしまライフスタイル推進事業業務委託仕様書（案）

1 目的

この仕様書は、福島県（以下「甲」という。）が〇〇〇〇（以下「乙」という。）に委託する、ともに輝くふくしまライフスタイル推進事業業務を円滑かつ効果的に運営するため、必要な事項を定めることを目的とする。

2 実施期間

契約締結日から令和8年3月31日まで

3 業務内容

受注者は、事業目的を踏まえ、以下の業務を実施すること。詳細は発注者、受注者双方協議の上、定めるものとするが、独自提案（任意）があれば盛り込むこと。

(1) 「とも家事（※）」推進イベントの企画・運営

※「とも家事」の定義：性別にかかわらず共に協力し合って家事に取り組むこと。

- ・ 次のスケジュールで「とも家事」推進イベントを実施すること。

「とも家事」推進イベントの概要について

普段あまり家事をしない（出来ていない）県民に対し「とも家事」を啓発し、より広範囲にとも家事の普及啓発を行うことをねらい、①著名人による「とも家事」に関するトークショー、②「とも家事」タイアップ企業（※）と協力した「とも家事」PRブースの出展、③子どもとできる家事体験等を開催する。

※「とも家事」タイアップ企業の定義：とも家事の趣旨に賛同し、県と連携・協力し、とも家事の普及を図るため具体的な取組を実施する企業又は団体等のこと。

また、若年層が取り組む「とも家事」のアイデアや具体例を紹介することにより、来場者（特に若年層）に実際に家事を行うイメージを想起させ、「とも家事」を実践する一助となるような啓発を目的として、④「とも家事」を実践している県民（「とも家事」推進キャンペーンにおけるモデル家族を想定）を登壇者とした「とも家事」に関するパネルディスカッションを開催する。

4月上旬から4月下旬	イベント内容に関する調整
4月下旬から5月中旬	広報用チラシ・ポスターの制作
5月中旬から6月下旬	周知・広報
5月中旬から5月下旬	関係者・関係機関の打合せ
5月下旬から6月中旬	進行表等制作
6月下旬	イベント開催

- ・ 開催時期、場所、開催方法について

令和7年6月下旬の休日のうち、県内において1回（1日）開催する。

- ・ 目標来場者数を1,000名以上とすること。

- ・ イベント（トークショー・パネルディスカッション）について

各イベントは1時間程度とし、著名人は家事や育児の分担に積極的に取り組んでおり、幅広い世代に支持されるようなタレント（1名～2名、夫婦可）とする。また、司会者1名、ファシリテーター1名のほか、パネリストは3名程度とする。

- ・ PRブース等について

一区画につき4～5㎡程度で、全体で15ブース程度を想定（提案によりブースの増

減は可能)。

- ・ P Rブースの出展者の募集を行い、15 ブース程度出展者を確保すること。
○ P Rブース等 (例)
 - ・ 「とも家事」タイアップ企業による便利家電の実演販売やお弁当・お惣菜の販売等
 - ・ エプロンペインティング体験などの親子でできる家事体験ブース
 - ・ 集客が見込めるキッチンカー・各種ワークショップ
- ・ 運営について
 - (ア) イベント等に関する申込受付、問合せ窓口の設置、問合せ対応
 - (イ) 全体運営マニュアルの作成
 - (ウ) 各種プログラムに係る連絡、調整
 - (エ) 会場レイアウトの作成
 - (オ) 各種プログラムの準備、設営、運営
 - (カ) イベント運営に必要な人員の手配
 - (キ) 外注業者との契約 (設営撤去など)
 - (ク) イベントの出演者の手配、各種連絡調整、謝金等の支払い
 - (ケ) イベントの資料のとりまとめ、印刷、配布
 - (コ) 展示物の設置
 - (サ) 来場者数等の集計
 - (シ) イベント当日の写真記録等の作成
 - (ス) アンケートの実施
 - (セ) 県HPに掲載可能なコンテンツデータの作成
 - (ソ) その他県が必要と認めるもの
- ・ 告知のためにチラシ (A4 版 10,000 部、デザイン費含む)・ポスター (A2 版 2,000 部、デザイン費含む) の制作・配布し、啓発を図ること。
- ・ チラシ・ポスターの配布先は、甲と協議し決定すること。

<企画提案事項 1>

イベントの企画・運営案について提案すること。

- (2) 「とも家事」推進キャンペーンの企画・運営
 - ・ 名称は、甲と協議のうえ決定する。
 - ・ 次のスケジュールで「とも家事」推進キャンペーンを実施すること。
キャンペーンの仕組み (概要) について
 - 4 月上旬から 4 月下旬 キャンペーン内容に関する調整
 - 4 月下旬から 5 月下旬 モデル家族の取材
 - 4 月下旬から 6 月中旬 広報用ポスター等の制作
 - 6 月下旬から 11 月中旬 キャンペーン第 1 弾展開
 - 7 月下旬から 8 月下旬 キャッチコピーコンテスト作品の募集
 - 9 月上旬から 9 月中旬 キャッチコピーコンテスト作品の審査
 - 9 月下旬から 10 月下旬 モデル家族の取材
 - 10 月上旬 優秀作品の作者に副賞等を送付
 - 11 月下旬から 3 月下旬 キャンペーン第 2 弾展開
 - ・ 「とも家事」アクションウィーク (毎月第 3 日曜日 (家庭の日) からの 1 週間) を設定すること。

○毎月のテーマ（例）

- ・男性が主体的に便利家電や時短食材等も活用しながら洗濯や掃除、子どものお弁当や夕食などを準備する。
- ・男性が時差出勤や子育て休暇も活用しながら子どもの送迎や保育園からの急な呼び出しにも対応する。
- ・「とも家事」を実践しているモデルとなる家族をほりおこし、4組程度選定・取材し、家事シェアの実践例などを紹介すること。 ※うち1組は県職員の家族を想定
- ・小中高生を対象にキャッチコピーコンテストを実施し、受賞作品のコピーをキャンペーン第2弾のポスター等の広告素材に採用すること。
- ・キャッチコピーは「とも家事」ポータルサイト内で募集するものとし、募集にかかる企画・進行管理を行うこと。
- ・テレビやウェブ・SNS広告等にてコンテストの告知を行うこと。
- ・第2弾のポスター等の広告素材に採用するコピーを選定するものとし、採用されたコピーの作者への副賞、並びにその他の作者への景品を送付すること。
- ・「とも家事」タイアップ企業と連携し、家事時間の削減や家事負担の軽減につながる商品・サービスの紹介、「とも家事」という考え方の普及啓発などを行うこと。

○タイアップ企業による取組（例）

- ・「とも家事」普及に向けた周知協力（広告での周知、店内掲示、特設コーナー設置、アプリ掲載、店内動画放送、ネット媒体での情報発信 など）
- ・家事代行サービス事業、食材等宅配サービス事業等の利用割引・利用促進キャンペーン
- ・お惣菜、弁当、時短食材、冷凍食品、店内飲食、便利家電等の割引販売
- ・「とも家事」タイアップ企業の新規開拓として、企業を訪問等により趣旨を説明した上で、協力を得ることとし、10社程度を目標とすること。
- ・「とも家事」タイアップ企業の名称及び、同企業が実施する「とも家事」の普及を後押しする割引キャンペーン等の情報を収集し、「とも家事」ポータルサイトに掲載・周知すること。
- ・「とも家事」推進キャンペーンのロゴを甲と協議の上、デザインすること。また、「とも家事」タイアップ企業の活動を支援するため、デザインしたロゴを活用し、以下の啓発用資材を作成すること。

○啓発資材（例）

- ・ポスター、のぼり旗、タペストリー、スイングPOP、ステッカー等
- ・「とも家事」アクションウィークにおける啓発アナウンス
- ・タイアップ企業による取組の利用者を対象とするアンケートの企画・運営・管理・集計を行うとともに、併せて、タイアップ企業における集客効果やお客様の反応等を取りまとめること。なお、タイアップ企業によるプレゼント企画などの手法を取り入れるなど、より効果の高いアンケートを実施すること。
- ・「とも家事」推進アンバサダーを任命し、デジタル広告またはテレビ等をはじめとした情報発信を展開すること。
- ・デザイナーを採用するなどし、業務遂行に必要な体制を整えること。

<企画提案事項2>

キャンペーンのラフ案について提案すること。

(3) 「とも家事」ポータルサイトの企画・運営

- ・ 次のスケジュールで「とも家事」ポータルサイトを制作すること。
「とも家事」ポータルサイトの概要について
 - 4月上旬から4月下旬 ポータルサイトに関する調整
 - 4月下旬から6月中旬 ポータルサイトの制作
 - 6月下旬 ポータルサイト公開
 - 6月下旬から7月下旬 周知・広報
 - 6月下旬から10月中旬 ポータルサイトの改修
 - 11月下旬 ポータルサイト新コンテンツ追加
 - 11月下旬から12月下旬 周知・広報
- ・ 専門家による監修を受けるなどして、より県民の興味をひくような、効果の高いポータルサイトとすること。
- ・ 「とも家事」が男女双方・家族にとって有益であるなど、女性と男性双方の立場や視点からのアプローチを意識する内容とすること。また、家事や育児に慣れていない男性でも抵抗感なく、男性の家事・育児への参画の動機付けにつながるような要素も含めること。
- コンテンツ（例）
 - ・ モデル家族のインタビュー
 - ・ 「とも家事」アクションウィークの好事例紹介
 - ・ 「とも家事」タイアップ企業の取組紹介
 - ・ 「とも家事」キャンペーンにおける啓発資材のダウンロード
- ・ デザイナーを採用するなどし、業務遂行に必要な体制を整えること。

<企画提案事項3>

ポータルサイトのラフ案について提案すること。

(4) ふくしまアンコン解消アクション！啓発動画・リーフレットの企画・運営

- ・ 次のスケジュールで啓発動画・リーフレットを制作すること。
啓発動画・リーフレットの概要について
 - 5月上旬から5月下旬 啓発動画・リーフレットに関する調整
 - 5月下旬から8月下旬 啓発動画・リーフレットの制作
 - 9月上旬 啓発動画・リーフレット公開
 - 9月上旬から10月上旬 周知・広報
- ・ 一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所による監修を受けること。
- ・ 県内企業や子育て支援団体にヒアリングの上、アンコンシャス・バイアスへの気づきを促すことを目的としたWEB用動画を4パターン程度制作し、「とも家事」ポータルサイトのコンテンツとして公開すること。
- ・ 高齢者や高校生を対象にアンコンシャス・バイアスを知ることが目的とした啓発リーフレット（A4版10,000部、デザイン費含む）を2パターン程度制作・配布にて、啓発を図ること。
- ・ 啓発リーフレットの配布先は、甲と協議し決定すること。
- ・ デザイナーを採用するなどし、業務遂行に必要な体制を整えること。

<企画提案事項4>

啓発動画・リーフレットのラフ案について提案すること。

- (5) ふくしまアンコン解消アクション！意見交換会・出張セミナー（出前授業）の企画・運営
- ・ 次のスケジュールで意見交換会・出張セミナー（出前授業）を実施すること。
意見交換会・出張セミナー（出前授業）の概要について
5月上旬から5月下旬 出張セミナー（出前授業）に関する調整
5月上旬から6月下旬 意見交換会に関する調整
6月上旬から12月下旬 出張セミナー（出前授業）実施
6月下旬から7月下旬 意見交換会関係者の打合せ
7月上旬から8月上旬 進行表等制作
8月下旬 意見交換会
 - ・ 9月下旬から10月下旬 周知・広報
 - ・ 専門家と学生等による意見交換会を実施し、若者の意見等を特集番組やポータルサイト等を通じて広く発信すること。
- テーマ（例）
- ・ 業界・企業・職場環境におけるアンコンシャス・バイアス
 - ・ 公募等により10件程度を選定し、企業・団体向け出張セミナー（出前授業）を実施することとし、選定にあたっては甲と協議すること。
 - ・ 講師として、一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所に所属する講師を派遣すること。
 - ・ セミナーの資料として、甲が提供する啓発冊子等を活用すること。
 - ・ 講師との調整、謝金の支払を行うこと。
 - ・ 出張セミナー（出前授業）の対象者は組織トップや管理職（部長級・課長級）、生徒、保護者とする。
 - ・ 告知のためにチラシ（A4版2,000部、デザイン費含む）の制作・配布し、啓発を図ること。
 - ・ チラシの配布先は、甲と協議し決定すること。
 - ・ 運営用の参加者名簿を作成すること。
 - ・ 開催日の3日前までに、当日の進行表等を提出すること。
 - ・ セミナー等に必要な資材等の準備を行うこと。
 - ・ 会場の写真撮影を行い、実施報告書に添付すること。
 - ・ 参加者へのアンケートを実施し、集計すること。アンケートの実施方法については、県・派遣団体と受注者の協議により決定すること。

<企画提案事項5>

意見交換会及びセミナー等の企画・運営案について提案すること。

4 業務実施体制

- (1) 本事業の趣旨、内容を十分に理解し、かつ、業務遂行に必要な知識・能力・経験を有する要員を配置すること。
- (2) 本業務の企画運営スケジュールの管理を適切に行うこと。
- (3) 甲と随時打合をを重ね、無理のないスケジュールで進めることができるよう努めること。

と。

- (4) 本仕様書に定めのない事項や疑義が生じた時は、双方協議の上、決定するものとする。
ただし、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と考えられるものについては、本業務に含まれるものとする。

5 権利の帰属

- (1) 本委託事業の成果品に関する一切の権利は、原則、福島県に帰属するものとする。
- (2) 乙は、甲及び甲が指定する第三者に対し、著作権人格権を行使しないものとする。

6 提出書類

- (1) 着手届（様式第1号）
委託業務の着手時に提出すること。
- (2) 完了届（様式第2号）
委託業務の完了時に提出すること。
- (3) 成果品
甲が必要と認める書類等とする。

7 その他

- (1) 業務の実施に必要な経費は契約金額に含まれるものとし、甲は契約金以外の費用を負担しない。
- (2) 必要な資料及び情報の収集等は業務に含まれる。
- (3) 業務に係る記録については、HPや報告書等で外部公表する可能性があるため、関係者から事前に了承を得ておくこと。
- (4) 業務の実施に当たり、知り得た内容を第三者に漏らしてはならない。
- (5) 仕様内容及び数量等に変更が生じた際は、協議を行うものとする。
- (6) 仕様書内容の実施が困難な場合、又は内容を縮小せざるを得ない場合、契約金額、契約内容等に変更が生じることがある。変更内容については、甲乙協議のうえ、定めることとする。